

プログラム

13:00～13:30 見学(以下の3コースから希望のコースを選択)
多摩テクノプラザ①電子・機械コース、②繊維コース、③化学コース

13:30～13:35 開会挨拶

東京都立産業技術研究センター 理事長 片岡 正俊

【多摩テクノプラザの技術事例発表】

13:35～13:50 ものづくりを支援しますー設計・試作における活用と事例ー
電子・機械グループ 阿保友二郎

13:50～14:05 電子機器の電磁波ノイズ対策研究について
電子・機械グループ 上野 武司

14:05～14:20 繊維分野の有効活用法ーオーダーメイドの活用事例ー
繊維・化学グループ 小柴多佳子

14:20～14:35 製品の開発・品質向上と表面処理技術ー身近な技術「めっき」ー
繊維・化学グループ 水元 和成

14:35～14:55 連携活動の紹介～価値作りの連携を目指して～
産学公連携コーディネーター 島田 文生

14:55～15:05 休憩

15:05～15:45 連携発表

「大学シーズはこう使う！事例から見る産学連携の上手な使い方」

・大学シーズの使い方について

首都大学東京 産学公連携センター 事務長 桜井 政考 氏

・事例から見る産学連携の上手な使い方

首都大学東京 産学公連携センター コーディネーター 饗庭 真悟 氏

15:45～16:55 特別講演

「今後の経営環境と事業展開ーモノ作り中小企業の取組みと事例ー」

大阪大学大学院工学研究科 招へい教授 後藤 芳一 氏

経済危機や自然災害など環境激変への対応が求められてきた一方で、経済のグローバル化、人口の減少・高齢化、国内市場の縮小という構造的な課題への対応が急がれます。中小モノ作り企業には、これまでに増して、タイミングを失わず、適切な対応が求められます。

経済産業省中小企業庁で中小ものづくり高度化法(サポイン法)を立案した講師が事例をもとに、これからの対応をお話しします。

16:55～17:00 閉会挨拶

東京都立産業技術研究センター 多摩テクノプラザ所長 鈴木 雅洋

17:00～ イブニング・セッション(会費1,000円)

参加者は、パネル展示会場にて、特別講演講師、研究員等と飲み物とともに、気軽にお話しいただけます。

パネル展示テーマ

電子・機械グループ

高速デバイスの高周波特性評価手法の確立	近藤 崇
船舶で輸送される貨物のランダム振動試験の実現	小西 毅
高速パルスノイズ(EFT/B等)抑制のための対策部品の活用	上野 武司
伝導性エミッションの対策部品選定手順に関する研究	大橋 弘幸
EMCサイトにおけるISO17025測定手順の確立と不確かさの算出	高橋 文緒
Motionnet通信品質シミュレーションと実機評価に関する研究	佐藤 研
斜め貫通孔を有する金属製ロッドの圧縮曲げ特性評価	西川 康博
表面性状評価法の最適化に関する研究	小船 諭史
走査型プローブ顕微鏡による微小金属間化合物の観察	高橋 俊也

繊維・化学グループ

染色加工における超微細気泡の利用	榎本 一郎
プラスチック射出成形シミュレーションの事例	安田 健
ボンベガスを用いた窒素酸化物による染色堅ろう度試験方法	岡田 明子
染色布への新規プリーツ加工	武田 浩司
灌水労力を軽減する吸水性シートの開発	平井 和彦
原発事故廃棄物の低温ガラス固化	小山 秀美

※ このほか、首都大学東京の技術シーズ、都産技研多摩テクノプラザの事業紹介等のパネル展示を予定しています。